

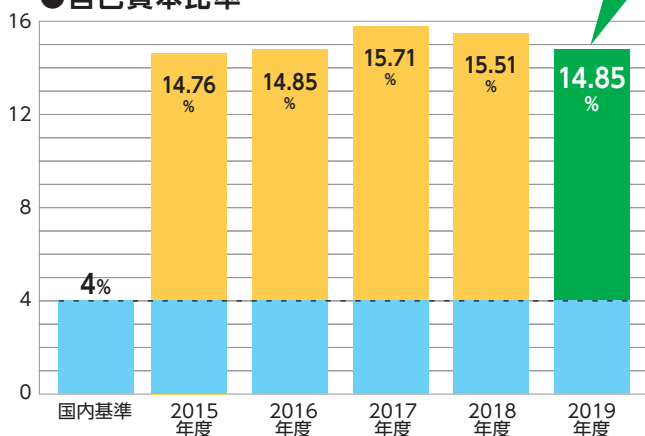
あんしんできる「あいしん」です。

自己資本比率は、金融機関の「安全性」と「健全性」を示す重要な経営指標です。あいしんの自己資本比率は14.85%であり、国内のみで営業をしている信用金庫等に必要とされる国内基準の自己資本比率4%に対し、3倍を超える高い水準にあります。

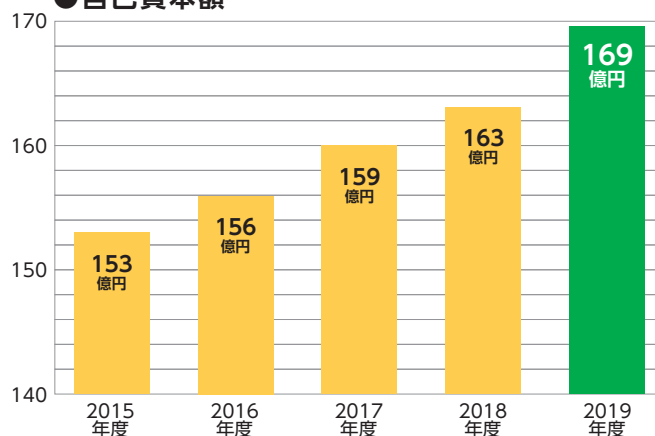
また、あいしんの自己資本額169億円の99%以上は会員の皆様からの出資金と利益を積立てた内部留保から構成されており、**堅固なもの**となっております。2019年度の自己資本比率は前期より若干低下いたしました。自己資本額は前期より増加し、上記のとおり「安全性」と「健全性」は堅持されており、信頼を寄せていただけるに足る水準となっております。

国内基準4%の3倍以上

●自己資本比率



●自己資本額



単位:百万円

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
自己資本額	15,393	15,621	15,995	16,372	16,923
リスクアセット (毀損する可能性のある試算額)	104,243	105,172	101,798	105,539	113,894
自己資本比率	14.76%	14.85%	15.71%	15.51%	14.85%

●2019年11月7日

「防犯CSR実践企業」表彰

「全国防犯CSR推進会議」より、防犯関連の社会貢献活動の持続的かつ効果的な支援を行うことを目的とした活動が認められ、「防犯CSR実践企業」の表彰を受けました。

防犯CSR活動とは

CSRとは「Corporate Social Responsibility」の略で、「企業の社会的責任」と訳され環境保護、地域貢献等、純粋に財務的な活動以外の分野において、企業が持続的な発展を目的として行う自主的取組を言います。近年、防犯の分野で活動に取り組む事業者も増加しています。防犯CSR活動は、犯罪の起きにくい社会づくりを実現し、地域住民等の安全安心の向上につながるものです。



●2019年11月8日

NISC主催「分野横断的演習」参加

東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を控え、重要インフラ事業者等がサイバー攻撃を受けたことを想定したBCP訓練。

